

まちづくりに関する意見募集
—報告書—

令和5年12月

高山市

目次

第1章 意見募集の概要

1	目的	1
2	期間	1
3	項目	1
4	方法	1
5	結果	1

第2章 意見の内容

1	誇りや愛着を感じる場所	3
2	暮らしにくさや不安を感じる場所	9
3	将来に向けたご意見・ご提案	19

第1章 意見の内容

1 目的

高山市第九次総合計画の策定にあたり、まちづくりに関する意見等を聴取し、今後の政策立案の参考とする。

2 期間

令和5年7月1日～11月3日

3 項目

誇りや愛着を感じる場所
暮らしにくさや不安を感じる場所
将来に向けたご意見・ご提案

4 方法

募集地域 高山市内全地域
募集対象 全市民
実施方法 ・ 広報たかやまに調査票を掲載し、郵送・オンラインにて回答
・ 調査票を公共施設（66施設）、スーパー（18店舗）に設置し、郵送・オンラインにて回答
・ 市のホームページに専用フォームを設け、オンラインにて回答

5 結果

意見数 139件

回答方法	意見数（件）
郵送	80
実施方法別内訳	
広報たかやま	65
公共施設	11
スーパー	4
オンライン	59
意見募集を知ったきっかけ※ ¹	
広報たかやま	22
公共施設設置用紙	6
スーパー設置用紙	3
市ホームページ	9
SNSからのお知らせ	21
その他※ ²	6

※1 複数回答のため合計値と一致しない。

※2 知人からの情報提供など

意見提出者の属性等

		意見数 (件)	構成比 (%)
居住地域	高山地域	101	72.7
	丹生川地域	10	7.2
	清見地域	1	0.7
	荘川地域	3	2.2
	一之宮地域	4	2.9
	久々野地域	3	2.2
	朝日地域	2	1.4
	高根地域	1	0.7
	国府地域	5	3.6
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	4	2.9
	無回答	5	3.6
	合 計	139	
	年齢	10・20代	10
30代		13	9.4
40代		22	15.8
50代		20	14.4
60代		25	18
70代以上		45	32.4
無回答		4	2.9
合 計		139	
性別	男性	49	35.3
	女性	75	54.0
	無回答	15	10.8
	合 計	139	
職業	農林畜産業	4	2.9
	自営業	14	10.1
	会社員・公務員・団体職員	34	24.5
	パート・アルバイト・内職	26	18.7
	家事従事者	14	10.1
	学生	4	2.9
	無職	32	23
	その他	5	3.6
	無回答	6	4.3
	合 計	139	

第2章 意見募集の結果

1 誇りや愛着を感じるどころ

問1 あなたは、高山市のどのようなところに誇りや愛着を感じていますか。

労働・産業
・高根地域のように廃校が活用されることは地域を元気にさせる素となる。
農業
・自然が豊かなところ。飛騨の野菜や果物が美味しい。
・寒暖差が育む味の濃い農作物
・農業、トマト、ほうれん草、飛騨牛などへの取組み
・水、野菜、米が大変美味しい。
観光・海外戦略
・観光客に人気なところ
・岐阜県と言っても通じないが、飛騨高山と言うと「知ってる、わかる」というブランド力、知名度が高いところ。春夏秋冬の日本の四季がはっきりと感じられるところ
・晴れた日の乗鞍岳の景色、飛騨牛乳（コーヒー牛乳）、みたらし団子、飛騨牛、焼き鳥など国内外の人に自慢したい物がたくさんある。
・国際観光都市 飛騨高山として、住んでよし、訪れていただいてよし。県内外の友人らからも、うらやましいと言われる。自然があり、美味しい食があり、祭り・伝統文化が生活に溶け込んでいるところ。
・観光客が多い。域外の人からは、良いところと言われる。
・身近に観光地があるところ
・有名な観光地であるところ
・観光都市
・観光は県の誇りである。もっと県のお金を市に使うよう働きかけてほしい。今では外国人が大半だが喜ぶような観光にも取り組むべきか。
・朝市。祭り。
・四季を通して自然があり、人が優しく、文化が所々で違い、昔からの文化財も多く、観光地であること。
・自然の豊かさ。食べ物がおいしい。個人経営の飲食店のレベルの高さ。観光地としてたくさんの人に来てもらえる。伝統的なイベントが多い。
・観光客でにぎわう所。伝統的な祭（高山祭、泣きずもう、生きびな、ちょけらまいか等）
・自然。伝統工芸品。（焼物、飛騨春慶、一位一乃彫）飛騨弁。（方言、朝市）飛騨牛
・沢山の外国人が訪れてくれる魅力あるまち
・自然観光、文化観光に魅力がある。

学校教育
<ul style="list-style-type: none"> ・来年度、一之宮町に不登校特例校が開校されることは嬉しい。また、どのまちにも学童保育の場があることは素晴らしい。

文化芸術・スポーツ
<ul style="list-style-type: none"> ・結構有名な芸人や講師が来てくれる。 ・雪国。スキー場がたくさんある。

歴史文化
<ul style="list-style-type: none"> ・伝承文化を重んじている。良くも悪くも日本的風情、人情味が、残っている。 ・町並みや技術など、伝統を大事にしているところ ・小さなまちであるが、伝統文化が根付いていること。飛騨びとのやさしさ ・伝統ある町並みなど歴史、風情があり、それを目的に世界から観光客が訪れており、高山を通して「日本」を感じている方が多くいるということ。 ・歴史や伝統文化が根付いたまちである。 ・高山祭のメインである屋台の彫刻を手掛けた天才彫師「谷口鹿六」がいたこと。陰で高山をPRしている人がいる（3、4年前に知ったことだが、高山出身で国内外にて活躍された方が、出身である飛騨高山をネットで紹介している）、また国内外にPRできる高山があること。 ・深い山奥にあり、開発が遅れてきた歴史と、それにより守られてきた伝統文化 ・金森時代から栄えてきた高山のまち。縄文時代にはすでにあつた文明 ・伝統を大切にしながら新しいものも柔軟に取り入れようとする人 ・文化財をきちんと伝承している。方言にやさしさを感じる。 ・飛騨高山の歴史の閉ざされた文化 ・伝統があり歴史的なものがたくさんあって守られているところ。助け合って生活しているところ。合併したがそれぞれの地区で特色があるところ。 ・高山は城下の町並みと春、秋の祭りで知られている。 ・歴史的な遺産があること。自然豊かな所。 ・市は日本アルプスや宮川など風光明媚の地にある。歴史的な文化遺産も高山陣屋、国分寺、東山の寺院群や古い町並、松倉城や高山城の石垣など数多くある。それも先の大戦で日本中空襲を受け、830の市町村が被害を受け、死者56万人出たが、高山市は戦火にあわず残ったからである。 ・情緒ある町並みがある。古い陣屋などがある。

協働
<ul style="list-style-type: none"> ・比較的優しい言葉遣いで、優しい人が多い。 ・生まれ育ったまちなのと、豊かな自然や周りの人の温かさに愛着を感じる。 ・住民同士の繋がりが深いところ ・人を大切にする心 ・親切心や愛着心があるところがよい。 ・近所、周りの方々の温かさ、お互いに助け合えること。 ・家同士の横のつながりがあるため住みやすい。

・人情味があり住民は優しい。
・礼儀正しい人がたくさんいる。(保守的な人が多い)
・人が優しい
・(主に高齢者かと思うが) 柔らかい方言を聞いた時に心が和む。
・人の心があたたかいところ

生活環境
・自然がいっぱいでまちの中もごみもなくきれいなところ
・まち全体が美しいこと (ごみが落ちていない)

道路
・一之宮～石浦間のトンネルができれば誇りに思う。

景観・地球環境
・生まれ育った郷土が「山も水も美しい飛騨高山」の市民であること。
・山、河川、温泉など自然が身近にある。
・自然が豊富なところ
・素晴らしい自然。特に御岳、乗鞍、穂高の山々、北アルプスそして振り向けば白山。秋のもみじと山の上の方の雪とのコントラストは最高だ。
・自然豊かで文化や歴史があるところ。山に囲まれているところ
・自然豊かで涼しいところ
・森林や動植物、自然が豊か。すぐ近くに 2000m 級の山がある。自然災害が少ない。
・身近に自然がたくさん残っている。天然資源が豊か。
・身近な所に多様な自然環境が存在し、その自然環境に生息している生き物達を市街地で観察できること。
・文化と自然の両方に恵まれている。市内各所から見える北アルプスの眺めだけで他にない価値がある。
・四季のうつくしさ
・自然が美しい。空気がきれい。水がおいしい。
・北山のウォーキングでは日本人より海外の人に会うことのほうが多い。自然が魅力なのかと思う。
・美しいまちだと思う。たくさんの方が訪れてもごみの落ちている所がほとんどない。景観の良い地区がたくさんある。
・高い山々。美しい川。おいしい野菜
・関東、中部圏と離れた独自の文化があり、周りの自然、森林、飛騨山脈の素晴らしさ
・自然豊かで世界中から人がやってくる。
・米、野菜がおいしい。水がきれいで水道水がおいしい。自然豊か。
・市街地周辺に四季の変化の微妙で美しい里山(雑木林)に恵まれていること。槍～穂高連峰が一望できるのは飛騨の最大の誇りである。(長野側では不可)
・自然(森・山)がいっぱい。食品トレーの回収に皆が取り組んでいる。
・自然が素晴らしい。山、川、緑が豊富

・人が良いところや自然がいっぱいで住みやすい。
・緑が多く、住民の方がいつも清掃している。散歩ができる場所が多いこと。
・まち全体が美しい。
・家から飛騨山脈（北アルプス）が眺められ、四季折々の花にも恵まれ、静かで空気がきれい。最高な地だと思う。
・アルプスを見て生活できるところ。
・日本列島の屋根ともいえる飛騨山脈があり、北半球の縮図であること。一言でいえば生物多様性の宝庫であること。
・アルプスのパノラマが美しいこと

防災
・過ごしやすいところ。今のところ、他地域のような甚大な災害が起きていないので、年々温暖化がすすんできているが、まだ気候的にも過ごしやすい。
・上宝町は災害が少ないところ

安全
・治安が良いところ
・騒がしくないところ。田舎とまちが程よくマッチしている。今のところすごく悪い人がいないと思われること。

行財政運営
・市に地域政策課が新設され期待している。

その他
・過ごしやすい
・のびのびとしている。
・自然が豊かで、適度にお店もあり住みやすいところ
・飛騨高山というところのほとんどの人から、認知度の高いところで生まれ育ったという実感がある。認知度が高いのは伝統的な文化や施設が大切に守られてきているおかげで、ホウレンソウ・トマト・宿儺カボチャ・大根などの高原野菜も有名である。都会ではないけれどその分自然豊かで、特に高山地域はこじんまりとまとまって配置されており生活もしやすそう。また、郊外には、これも多くの人から知っている白川村の合掌造り、乗鞍スカイラインなどもあり、中でも高山祭、高山ラーメン、家具、斐太高校の白線流しのことを紹介すると、誰もが「いいところですね」と喜んでくれる。私は今でも年賀状は毎年多色刷りの版画で作成しているが、これは小学生から授業で版画をしていた影響だと思う。小学校から高校までスキーの授業があったのも良かったと思う。
・先祖から引き継いだ大切な慣習や文化を、ひけらかす事などなく継続していること。他人に対する誠実で真摯な対応。古き日本にあったあたたかさ、優しさ。文化的知的水準が高く、市民の叡智が生活にも生かされてる。四季の移り変わりがはっきりしていて四季を味わえる。知恵の詰まった食材を活かす郷土料理。まちが美しく保たれている。古墳や神社など、祖先の歴史を感じる場所が豊富。以上、暮らし方に美しさがある。

<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然、人の優しさや勤勉さ。それで、都会には無い穏やかな時間が流れているように感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かなところ。私自身は 2～30 代を東京で暮らしたが、故郷（高山）で思い出すのは、幼少期に遊んだ近所の川や野山、路地、公園などの原体験から得た原風景だったと思う。都会は便利できらびやかな商業施設や娯楽施設がたくさんあり、仕事など選択肢もたくさんあり、魅力的ではあったけれど、人工的な風景はどのまちでも作られ得るもので、愛着までは感じられなかったように思う。同時に思うのは、自身が育った子ども時代のコミュニティの存在。故郷の原風景には、ここにしかない自然環境に加え、ある程度子ども任せの子ども世界がちゃんと存在していて、寄り道や道草、異年齢の近所の子ども同士での遊びの中からたくさんのことを学んだように思う。そんな中にも、挨拶を交わしたり声をかけてくれる大人の方の見守りの眼差しも感じていて、自然と安心感を持って、のびのびと成長することができたのだと思う。地域や土地に誇りや愛着を感じる要因には、その土地でしか持ちえない特有の環境（自然や文化など）と人（コミュニティ）に由来するところが、とても大きいように思う。そして 40 歳を迎えた今でも、子どもの時に体験し刻まれた愛着は、深く残っているなあと感じる日々（逆に窮屈さや生きづらさばかりを子ども時代に感じていたら…絶対に U ターンで高山に帰ってこようとは思わなかっただろうと思う）。ここまで書いて、現在の市で、誇りや愛着を感じる事がほとんど出てこないことはとても残念だなとも思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで人が温かいところ。
<ul style="list-style-type: none"> ・ TAKAYAMA TA: 匠の技（伝統文化）の息づく町 KA: 環境・自然エネルギー活用の町 YA: 山に囲まれた大自然と共生する町 MA: 真心と優しさの溢れる飛騨の人 そんな高山に誇りと愛着を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・夏の朝夜が涼しくて過ごしやすい。人が楽、やさしい。水や空気がきれい。飛騨出身と言って、悪いイメージを持たれない。車メインの生活なので通勤列車など人ごみに悩むことはない。都会に行くとき高速道路の渋滞がないことが多い。保育園も秋に申し込めば待機にならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・以下の関係者の方を誇りに思う。 飛騨には将来に残すべき動植物や自然環境があり、貴重な自然を守り、素晴らしさを伝えるために活動されている方々。 祭りや飛騨の文化を観光（要は外貨獲得）のみの視点で見ると、次の世代に文化を伝承していこうとする関係者の方々。
<ul style="list-style-type: none"> ・誇り（海外にも知られている有名な市）愛着（丹生川は自然が多くて空気や水が綺麗で美味しい。それ程市街地から遠くなく、でも家と家が離れていて住みやすい。）
<ul style="list-style-type: none"> ・適度に人が少なく、最低限の施設があるところ
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、文化、歴史が今まで継承されてきたところ。まちの空気がきれいで、まち全体もきれいで安全なところ
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が生まれ育ち、親族に世話になり今まで生活してきたまちであることに愛着を感じる。都会で暮らしていたときには「飛騨高山」という地名を知っている人が多かったことに誇りを感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・地場の食べ物が豊富かつ美味しいところ

<ul style="list-style-type: none"> ・高山祭の荘厳さ、夜祭などの文化は素晴らしい。北アルプス特に乗鞍岳の一年を通しての景色はふるさとの原点。心が休まる。宮川などのゆったりとした景色、あまりかまわないでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人々が優しくのんびりしているところ。自然が美しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然がいっぱい。水がおいしい。世界的に知られている。思い出がいっぱい、歴史あるまち。みたらしだんご、飛騨牛等おいしいものがいっぱいあるところ
<ul style="list-style-type: none"> ・山野の美しさ。町並みの美しさ。人の温かさ、優しさ。道路にゴミがない。
<ul style="list-style-type: none"> ・夏は日陰が涼しく、地盤がしっかりしていて住みやすい。心配は少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・小さな盆地の中、車で15分も走れば買い物ができ、また県庁所在地並みに国、県などの公共機関が整い生活に不便さを感じないところ。自然に親しめ楽しめるところ。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く、癒しの空間がたくさんある。おいしい野菜や果物、肉などがたくさんある。道の駅などで手に入りやすいところ。
<ul style="list-style-type: none"> ・市自体に愛着はない。家族、生活がある場所、安定感以外にないのでは。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔からのものがそれなりに受け継がれているところ。基本的に住みやすいまちだと思う。外国からの観光客が多いため、まちなかが色々な人でにぎわうと嬉しくなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・水・食べ物が美味しい。自然が豊かで空気が澄んでいる。伝統文化があり、世界中で有名な場所。飛騨弁文化。さるぼぼがかわいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔の佇まいが残り、人間も親切で、世話焼きで、食べる物はおいしく、文化が残っているところ。
<ul style="list-style-type: none"> ・町並みがきれい。ゴミが落ちていない。都会的なお店が出店してくれる。観光客がリピートしてくれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間味
<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学の飛騨天文台があることを知っているのだろうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国において市の知名度は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・陣屋は江戸から役人が来て司法と行政を行った。腐った代官により農民が苦しめられた。その中でも若き庄屋が命を懸けて直訴する。そういう歴史に感慨深いものを感じる。飛騨の里を外国人専用ホテル化できないだろうか。

2 暮らしにくさや不安を感じるどころ

問2 あなたは、高山市のどのようなところに暮らしにくさや不安を感じていますか。

労働・産業
<ul style="list-style-type: none">・市民が安心・安定して暮らすためには企業誘致が必要だと思う。同じ雪国でも長野・新潟や富山には大手企業がある。もちろん起業からその地にあったからだろうが、寒くても雪が降っても関係ない業種や、情報技術の発展に伴うワーケーションの普及とそれをきっかけとする企業の誘致につながれば素晴らしい。高校卒業後、東京の大学を経て「地元の企業」ということで電力会社へ就職したが、岐阜県勤務は43年間のうち2年間だけで結局地元には何の貢献もできなかった。市内で就職すれば、また違った人生があったのかもしれない。
<ul style="list-style-type: none">・働くところがない、給料が安い、経済が潤っていない、市は観光ばかりに力を入れていて市民の生活は置き去りである。
<ul style="list-style-type: none">・観光への投資が多いのは結構だが、若い世代の流出が止まることはなく、このままでは近い将来、観光業を営んでいる者のみが住んでいるまちとなる。市の観光がこれからも長く続くとは考えにくく、若い世代がリターンで戻ってきても安心できるよう、企業の誘致等にも投資すべきである。このままでは100年程で高山は限界集落になる可能性があることを認識してほしい。
<ul style="list-style-type: none">・暮らしにくいとは感じていないが、強いていえば、都会のように人口が多くないため（減っている）、経済が回らず会社は儲からないため、賃金が上がらず生活が苦しくなる一方である。
<ul style="list-style-type: none">・働き盛りが少ないため、人手不足なところ
<ul style="list-style-type: none">・この30年間、新しい産業育成がほとんどすすんでおらず、昔ながらの産業に頼っている。そのため賃金水準が低く、若い世代の人たちが経済的に恵まれていないこと。例えば観光業は非正規雇用の比率が高く、最低賃金で働いている人たちが多く、子どもたちを進学させるにしても経済的な余裕がないケースが見受けられること。
<ul style="list-style-type: none">・お金がない、給料が安い、物価が高い、住民税が高い
<ul style="list-style-type: none">・賃金安い。
<ul style="list-style-type: none">・月給は公務員並み、日給は最低都会並み、時給1500円～1800円に引き上げること。若い人の都会行きを留めさせ、豊かなまちへの将来性（希望）を持たせる。
<ul style="list-style-type: none">・田舎だから出来る事が限られ、夢を諦めざるを得ない（モデル・ショップ店員・IT等）。
<ul style="list-style-type: none">・伝統文化を継承する職人の所得を確保するためのリブランディングが通り一遍のやり方で弱い。職人育成の生活サポートやブランド価値を高める手法がない。
<ul style="list-style-type: none">・飛騨の産業や農業で良いものはたくさんあるのに、高いという理由でそれを知らない、生活に取り入れていない市民が多い。チェーン店や100円ショップはどんどん増え、何でも安ければ良い、壊れたら買えば良い、という考えになりがち。

農業・林業
<ul style="list-style-type: none">・農家の田んぼを若い人がやらなくなって田んぼをどうしていくか。
<ul style="list-style-type: none">・学校で食の指導として、糖分、塩分について学ぶことはあっても農薬についての指導はない。発達障がい増加は、食べ物の残留薬物が関係している説もある。
<ul style="list-style-type: none">・山に囲まれているが、伐採して植樹や下刈りなど山を管理している人はいるのか。我が家もそうだが、管理する後継者が居なくて手付かずになっていて、どうすればいいのか分からない。

- ・山の森林保全、山の木をどうしていくか。

商業

- ・大型店や観光客に偏り、地元住民が朝採れの市、飲食、日用品等の店を利用しにくくなってきた。生活に必要な施設等が身近にあり、用事や娯楽ができるとよい。
- ・コンビニやスーパーが遠い。
- ・買い物する場所が少なく、週末に家族で楽しむ場所もないので富山に行くことが多く、不便である。夜遅くまで営業しているスーパーなどがないので、仕事終わりに買い物に行けない。
- ・市民の娯楽（映画館等）が少ないところ
- ・スーパーがない。
- ・24時間営業の店が少ない。
- ・高山は観光に頼りきっている。川東の一部の商店は恩恵を受けているがこのままでいいのか。
- ・支所地域では食料品店が撤退して買い物が大変である。
- ・大型ショッピングセンターがなく岐阜や富山まで行かないといけない。

観光・海外戦略

- ・観光の強化はわかるが、市民が冷めた目で見ていているというギャップを埋める努力が見えない。このままでは観光は作り込まれたアミューズメントパークになる。
- ・観光産業ばかりに力を入れているところ
- ・市内にホテルが建ち過ぎている。観光に力を入れるのは構わないが、もっと市民に役に立つ施設などがあればよい。
- ・観光以外に目立った特徴がない。
- ・観光を大切にすればホテルも必要になるのだろうが、乱立するホテル群をまちの人は喜んでくれるのだろうか。新しいホテルを見るとまたかとかっかりさせられる。
- ・旅行客の増加で市民が過ごしにくい。ホテルのそばに住む人が旅行客の大声でうるさいと言っていた。
- ・観光客も必要だがホテルが多すぎる。数年後がとても不安である。外国（中国）の資本がかなり入っている。
- ・観光化のスピードが速く良い方向に行けばよいが、伝統が消えていくなど将来が心配である。
- ・地域により環境整備に差を感じる。特に下町、北山方面にも人の流れを増やしたい。
- ・外国人観光客のマナーが悪い。特に信号無視や横並びで歩くなどの交通マナーが悪い。

経済

- ・景観無視のホテル乱立や、古い町並への県外企業の進出など高山らしさが急速に失われていている。
- ・市の将来に不安。観光業ばかりに目が向き、少子高齢化に対し真剣に向き合っている姿勢が見受けられない。このままでは人口がますます減少し衰退していくと思う。

保健・医療

- ・医療のレベルがとても低いこと。「高山は救急車でたらい回しされることがないからいいよ」と聞いたことがある。でも命は生かされてもその後の治療は富山か岐阜まで行かなければならな

い。また、開業医がどんどん減っていることも不安である。
・小児科が少ない。病院が混んで3、4時間待つ時がある。病院を選べない。今1歳の子どもを育てているが、保育園に行けば必ず風邪をうつされてきて、土日に突然熱を出すこともある。祝日・日曜日・大型連休には、病院は総合病院か午前中しか診察しない休日診療しかない。だが、救急・休日診療には必ずしも小児科医がいるわけではないのがつらい。祝日や夜、日曜日には総合病院しか市の病院がないのだから、せめて小児科医は常にいてほしい。小児科医がいなければ、総合病院だけでも県外から小児科医を呼べないか。祝日・大型連休・日曜日専門の小児科があってほしい。産科病院も少ない。まず、医療施設を増やしてほしい。子どもを安心して産める場所、そして子どもたちがすぐ症状を診てもらえる場所がない限り、すすんで子どもを産みたいとは思わない。観光にお金をかけるのも結構だが、今の子ども達、未来の子どもたちの為にお金を使ってほしい。小児科医の確保をしてほしい。そして産んだあともママたちが鬱にならないように、孤独にならないように、相談できる場所がたくさんあってほしい。
・総合病院の急激なレベル低下
・医療の乏しさ、良い医師が少ない、介護施設が少なくて預け先を探すのに苦労している。
・子どもが少ないのに医療・介護・福祉は成り立つのか不安である。
・各病院の医師の高齢化が心配である。
・小児科や皮膚科が少なく、先生方が高齢の医院も多い。
・病院が遠い。
・かかりつけで訪問してくれる医者がほしい。
・医師、看護師が不足していると聞き、心配である。
・医療の充実を望む。高齢者にとって地元で治療ができない時、他地域へ行かなければならない時は不安であるし、負担でもある。

高齢者福祉
・独り身のお年寄りが家でじっとして外出しないケースがあり、集会所などがあっても魅力的な集まりがないと言っている。
・高齢化社会におこる問題：①雪かき対応困難②高齢ドライバーによる交通事故増加③在宅での老老介護
・高齢化により、いろいろと負担が増えること。
・将来、ますます高齢化がすすむと、病院への通院や日常の買い物が不安だ。
・少子化による労働人口の減少と高齢化社会。私も高齢者なので、介護施設等に不安がある。高齢化と共働き世帯により、町内会の役員選出が難しくなっている。役員の負担軽減、行政との関係の簡素化などできないのか。
・空き家が多く、高齢者世帯、一人暮らしが増えている。
・高齢者がますます増えるが、高山地域と支所地域間のバス路線が少なすぎて買い物の手立てがない。車を手放したいがどこへも行けない高齢者が増えるばかりである。雪またじができなくなってきたので雪の少ない所に行きたい。
・若者も大事だが高齢者も経済的に不安を持っている人が多い。市でも老人ホームに入るのに所得に応じて補助してもいいと思う。
・ヘルパー、介護福祉士が慢性的に不足している。育成機関（市内高校の専門科）がなくなってしまった。

- ・現在の生活に不自由さは感じないが、今後体も弱くなり高齢者ばかりで生活できるのか不安を感じる。話し合いも大切かと思う。
- ・乗り物の便が悪いところにますます老いていく身には不安を感じている。将来、車の免許返納を考えて、歩く事を心掛けているが、バランス感覚が悪くなり転びやすくなる。

障がい福祉

- ・人手不足のところ。一人暮らしで、病気で外出は難しいが、買い物や家事援助サービスが人手不足で受けられない。

児童福祉

- ・出産を機に県外からリターンしてきた。市は以前住んでいた地域より物価が高い上に、給料が安いと思う。その為、子どもをもう一人持つのに躊躇している。せめて、子どもの体調不良で欠勤が多くなりやすい未満児の間の保育料が安くなると嬉しい。子どもを連れていける駐車場付きの公園が少なく、遊びに連れていく場所がないのが残念だ（城山公園は子連れだけでなく大人も多く利用するのに、駐車場が狭くて停められないことも多い）。せっかく豊かな自然があるので、美濃市にある森林総合教育センターのようなプレイパークで子どもが主体的に遊べる場所も欲しい。また、雨や雪といった天候に関わらず、子どもがおもいきり身体を動かせる場所があると嬉しい。
- ・何より今の子どもたちのことが心配であり、不安である。このまちで、子どもが子どもらしく、のびのび、いきいきと暮らせているのだろうか（不登校、貧困、格差、過密スケジュール、監視、過干渉、そもそも外で自由に遊ぶ子どもの姿を見ない）。子どもが子どもでなくなり、自分で生き方を選択できるようになった時、市がその選択肢に入るのだろうかと思うと、「未来は明るい」とは全然思えない。身近なところでは、独居のお年寄りの方や、外からは見えづらいが家庭や生活が崩壊し孤立している状況の方が確かに存在している。自分自身の関わりのある方にもみえるし、知人・友人レベルから聞くこともしばしばある。仕事や市民活動の中から知ることもあり、実感としてとても多いと思うし、支援の手が絶対的に足りていないことに不安を感じる。
- ・（現状よりも将来に向けての不安材料の一つであるが）人口ピラミッド構成の是正。日本の全地方都市共通の課題であるが、国が今、こども未来戦略会議での議論を基にすすめようとしている異次元の子育て戦略では到底是正できないと思う。
- ・児童の放課後学童の対応が雑。施設も古い。
- ・市は若者世代、子育て世帯に優しくない一方で、選挙の票集めの為なのか、高齢者ばかり優遇しており、優遇されている年寄り世代自身も、高齢者が優遇されるのは至極当然と感じているように見受けられる（インフルエンザワクチンの費用補助、温泉券、水中ウォーキングは優遇し過ぎではないかと）。国も市もようやく本腰を入れて少子化に取り組み始めているが、またすぐ高齢者の政策ばかりするだろう。正直なところ、「今更少子化対策なのか。遅いでしょ」と感じている。
- ・まちなかにホテルばかり建って、地元の人のための施設が増えない。子どもが育っていくのに、感性を伸ばせるような施設がない。子ども用品の店が少なくて不便。飛驒の木を生かした施設などがあればいいと思う。
- ・子育て世代への支援がないと住まない（全1年生にランドセルを支給等）。
- ・「妊娠～出産～子育て」と様々な取組み、助成などがあるが、流産、死産、新生児死を経験した

家族へのケアのための制度を作ってほしい。臨月で死産した。どこにも頼る場所がなく、また産後の体のダメージもあるのに相談する場所がない。赤ちゃんを抱いている他のお母さんと同じ場所にはとても行けない。抱っこする子どもがいないのに産婦人科にはとても行けない。市役所では死産届など年に数件届け出があるが、このようなことがあることも把握できると思う。どうして私たちには産後のサポート、ケアがないのだろうか。当事者は子どもを亡くし動ける気が全くない。家族を亡くし、未来を失った家族へのサポートを希望する。亡くなった子の次の子の出産の助成、産休が終わった後の休暇を取るための助成、訪問相談、定期的なカウンセリング体制等、日常生活で困っていることがたくさんある。グリーフケアにも力を入れてほしい。

学校教育

- ・大学受験に対して情報量が少なく、また宿泊や移動にお金がかかる。
- ・市に限ったことではないが、学校の教職員の労働環境が悪すぎる。結果的に子どもへの教育の質が低下している。

文化芸術・スポーツ

- ・文化のまちといいながら、映画館が無いのが残念だ。まちの中心の空洞化がさみしく感じる。
- ・冬期など室内で運動できる所が（体育館の中を走れるなど）増えるといいと思う。

交流

- ・市内にもいろいろな人種の人歩いている。多様な価値観についていけない。

歴史文化

- ・祭りの袴行列は負担が大きい。コロナで中止になりうれしく思ったほどだ。町内で順に回さず希望する人だけで実施してほしい。
- ・高山祭に関して、若い人や子どもが少なく、準備や祭礼行事に関して不安を感じる。

協働

- ・自治会（町内会）は任意加入であるにも関わらず、「加入は当たり前。加入しない奴は悪」みたいな風潮が強い。また、行政側も自治会ありきで物事をすすめており、本来行政がやるべき仕事を自治会に丸投げしている部分があるのは大きな問題である。
- ・町内会、祭の役を押し付け合うところ
- ・日常生活がクールになり互いの助け合う精神が薄れてきている。自己中心的な住民が多くなっている。
- ・地域の若者が少なく、やらねばならない地区行事などかなり負担となっている。簡素化できないか。
- ・社教がまち協に変わったが行事等には変化がない。このままでいいのか。
- ・男尊女卑の風潮がある。
- ・個人の私生活まで土足で踏み込んでくるのが親しいと勘違いしている人たちが多くいる。
- ・他県からみえた方がなかなかコミュニケーションをとろうとせず、マイペースで町内はまとまらない。また、町内会の会計監査を義務付けしてほしい。

土地利用
・人口が減少しているのに郊外に宅地が造成されたり、無秩序にホテルが乱立するなど、市のまちづくりが放置されているところ

住宅公園
・移住を検討しているが住みたい物件がない。都心ではコミュニティや新たな長屋などおしゃれでナチュラルでサステナブルな物件を選べた。若者向けの住居に対する新しい発想に乏しく、業者の切磋琢磨が弱いと感じる。
・公園が少なく子どもが遊ぶ場所が少ないのですぐに飽きる。
・空き家を残す方向に向かっている気がするが、古い建物はどんどん壊すべきである。
・飛騨総社近くの公園に以前は遊具があったが、今はなく、子どもの遊び場がさらに少なくなっている。
・人口減少で空き家が増えること。
・アパートや借家の家賃が高い。

生活環境
・最近、道や堤防にゴミが捨てられていたり犬のフンが放置されているのを見かける。段々とマナーが悪くなって来ているように感じる。
・生活が便利になることはありがたいが、ごみを減らしていくことが必要である。
・道路での洗車、高圧洗浄機の騒音、側溝のふたを勝手に外している、花火やビニールプールでの大騒ぎなどマナーの悪い人がいて体調にも影響しているが改善してもらえないところがない。

公共交通
・交通の便が悪い。
・買い物や病院まで出かけるのに車が必須で時間がかかることは気にはなるが、それ以上に、高齢者や身障者の方で買い物や病院へ出かけるのに困っている人がいるのではないかという点が気になる。高速道路の丹生川インターができて市中心部への順路やバス路線も変更になるのであれば、少しは変わるかもしれないと思う。
・車がなければ移動手段がほとんどないこと
・比較的暮らしやすい地域に住んでいるが、自家用車が移動手段として必須になってしまっている。運転技術に自信がないので、高齢者になったときに自家用車なしで暮らしていけるよう価値観を変えることができるのか不安である。
・市内の交通（バス）が観光客に偏っている所。一部のバスを除いて数時間おきにしか運行されていないところ。周辺都市（岐阜、松本、富山）への移動が不便なところ
・公共交通機関の便が悪い
・高齢者になり、買い物等、交通が不便である。近くにお店もなく、この先どんどん出かけていくこともできなくなると思うと心配である。
・公共交通機関が充実していない。自家用車がないと買い物にもとても不便。高齢になった時、食品などの買い物にとっても不安を感じる。
・支所地域に住んでいるが、交通が不便でバスは通っておらず本数も少ない。小型バスで地域内

を巡回しながら高山地域へ向かう路線を多くしてほしい。
・高齢者になり運転免許を返納した時、交通機関が芳しくないと感じた。郊外に住んでいる方は不便さを感じ、なかなか免許を返納できないのではないかと思う。コミュニティバスなどを増やしてほしい。
・将来、近場のスーパーがなくなった時、車を運転できなくなった時の移動手段と交通費負担が不安である。中心地へ出るのに1時間程かかる。
・のらマイカーの本数が少ないので曜日を定めて本数を増やしてほしい。
・市内循環バスの本数が少ない。運転免許証を返した後の事を思うと不便さが不安に繋がりそうだ。

道路
・「安心して歩いて暮らせる まちづくり」をめざし、デコボコの道は整備してほしい。
・市街地の道路が狭いところ
・除雪が行き届かない時があるところ
・冬の道について雪かきをしっかりしてほしい。
・ウォーキングをしているが途中休むベンチがほとんどない。ベンチを増やしてほしい。
・道が狭い。自転車専用道路があると良い。
・冬の朝、少し早く起きて除雪するが、除雪車が来て雪のかたまりを残していく。困っている。
・家の前の雪またじを最後まで処理してほしい。高齢になると不安である。雪を溶かす側溝の整備も望む。
・高山地域では自転車利用者が多いが、自転車専用道路がほとんどなくとても危険である。自転車可能標識を付けたり、専用道路の整備をしてほしい。
・都市部へのアクセス、災害時の道路寸断が不便である。
・市道の整備が悪い。でこぼこを直してくれない。水路の蓋が道路敷より下がって設置されているところがあるため、平らにしてほしい。
・災害時のインフラ、特に道路に不安を感じている。
・道路、歩道の整備が良くない。木（街路樹）を植えると、根を張り、舗装を破壊し、不合理ではないかと思う。また、見通しも悪くなる。
・車が歩道にはみ出して車庫のように使用している事は違反でないか。
・車が多すぎて安全に歩行出来ない。
・家の前の雪またじを最後まで処理してほしい。高齢になると不安。（雪を溶かす側溝）

情報
・老夫婦でスマホを使っているが気軽に教えてくれるところがない。全て有料で通いづらい。子どもと一緒に住んでいれば聞けるのだが。時代に少しついていけない。

景観・地球環境
・市街地周辺の緑地（雑木林）が無計画に失われること。飛騨らしさを発揮、追及すべきなのに、やたらと欧米化、横文字がまちなかで目に付く。
・冬が寒く、雪が多いところ
・耕作放棄地の拡大、放置森林の拡大、除草剤の使い過ぎなど環境破壊がすすんでいる。

防災
・激甚災害時（陸の孤島になる可能性があるため）の生活困窮
・昨今の自然災害多発に伴い、大雨による河川氾濫や土砂災害の全てを防ぐことは難しくても、守るべき生命を守るまちづくりが必要だと感じる。特に日本全体に関わる広域災害時には、直接的な被害はなくても陸の孤島になることを想定して、真冬でも3ヶ月程度、市民8万人が生き延びられる備蓄を行政として備えられているのか、不安を感じる。
・大雨が降ると土砂災害が心配になる。災害時の交通機関が止まることも心配である。
・災害、特に大雨、洪水時の側溝の受け入れ量に不安を感じる。

安全
・子育て中でこれから保育園や小学校に通うようになるが、保育士や教員の目が十分に行き届いた環境なのか、また、まちなかは子どもが安全に歩ける環境なのか、不安を感じる。時々不審者の情報があったり、住宅街を結構なスピードで走行したり一時停止を無視している車が多かったり、横断歩道に歩行者がいるのに停止しない等運転が荒い車が多いと感じることがある。

行財政運営
・市役所で、手続きが必要な時や生活の中で困ったことがあった時など、どこの部署に行ってもいいかわからない。担当者によって対応が変わる（信頼関係を築けない）。誰に相談してもいいかわからない。聞いてみても相談事を歓迎しているように思えない（「ここでは対応できません」や、いくつも部署を回されて結局どこにも対応して貰えない。解決もそこへ繋がるヒントも得られない。民間の機関のほうがとても親切で親身だった）。市役所内の組織や縦割り等の事情は市民には分からないし、各職員は激務や大変な仕事をされているとは重々思うが、市民と市政の間に溝があり過ぎて、自分の住むまちのことを他人事のように感じている現状を残念に思う。
・業務委託先が市内でなく県外の業者ばかりなところ
・市役所職員の労働環境が悪すぎる。1人あたりの業務量が多すぎて、結局ひとつひとつの仕事が雑になる。思い切って仕事を無くすことも、市長や管理職に求められる力である。
・モンデウスは今後どうなるのだろうか。市の電気自動車が放置されていてもったいない。

若者
・人口減少が進んでおり、若い人が少ないので将来が心配である。
・若い世代が、働くところ、遊ぶところが少なく、映画や買い物に富山や岐阜に行くしかない。
・若者の仕事、就職先の選択ができない。観光以外の産業が少ない。地域外や都市部へ就職してしまう。
・若者を留める魅力が薄い。
・ホテルばかり出来て住人に何もメリットがない。若者（学生）にとって楽しめる場所がない。商業施設も限られている。

その他
・一般的に収入が少ないため、生活が苦しい事
・車社会で足腰の弱い人が多い。ゴミを車で運ぶ人をよく見かけて大変驚いた。車の運転ができ

ないと、さまざまな意味で難民となる。
・スーパーで売っている食材の危険性に気付いてない市民が多く、オーガニック店が少ない。健康を害し、保険料が膨らむ恐れがある。
・映画館がないのはつらい。市を出ないと映画をみられないのは本当に悲しい。
・市に相応しくない感じの移住者が多くなってきているところ
・特に暮らしにくいことは、日々の日常では感じない。
・所得水準が低いのに市民税が高い。
・人口減少
・古い町並周辺の渋滞。特に国分寺通りなど商店街の通りは商店に出入りする業者や客の路上駐車が多く、渋滞の原因になっている。それらに「飛騨ナンバー」が多い事も気になる。そういった交通の便の悪さが、地元民が観光地を毛嫌いしている要因ではないかと思う。警察ももっと取り締まりを頑張ってもらいたい。
・車が無いと生活が困難なところ
・観光地になっているが、今になってデメリットを感じる。今はお金優先、利便性が勝りすぎている。昔は貧しかったが、心が折れそうになることはなかったと感じる。それぞれの町内、班ではコミュニケーションがなくなりつつあると感じる。
・非課税世帯以外の低所得者にも何かしら補助して欲しい。物価高でギリギリの世帯も居るはずだ。
・どこへ行くにもアクセスが悪い、高速代がかかるのでためらう、映画行くのにも1日がかかりで、1人でふらっといけない。
・冬は電気代や灯油代がかかる。
・まちなかの駐車料金が高く、行く気にならない。
・宗教団体との関係
・新しいもの、仕組みを取り入れるのが遅い。
・大きなショッピングセンターが無いので、わざわざ時間をかけて買い物へ行かなくてはいけないところが不便で、お金もかかる。同じ岐阜県でも北と南では生活の豊かさに差があり、医療の選択肢も少ない。雰囲気も、なんとなく風通しが悪く、活気がない。陰湿なイメージがある。
・唯一の映画館がなくなり、駅周辺には次々とホテルは建つ。この建物は将来にわたって利益を生み出しているだろうか。
・遊ぶ所、映画館がない。
・プライバシー保護に関する意識が低い。Pマーク（プライバシーマーク）取得企業は現在のところ市内にはない。銀行や医療機関などの職員が悪気なく客や患者の情報を外で話すなどの行為も見聞きする。
・住民税や地価が非常に高いところ
・自家用車が必須の割にガソリン代が高いところ
・上宝町は高山地域から一番遠いまちになった。交通の便も悪く、十三墓峠の早期改良を望む。奥飛騨温泉郷と上宝町を一緒にしないでほしい。
・市街地の駐車場が全て有料である所
・人口減少により経済活動の縮小。それによる人口減少と負のスパイラル
・公共交通網と障がい者福祉サービスに不安を感じる。
・噂がすぐに広がる。

<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費を多く使う。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者の結婚、中年男女の結婚について、福井県は県や市を挙げて世話をする活動をしているらしい。すすんでやっている所に学んでみてはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・冬の雪またじ。毎年冬が来るのが憂鬱である。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔のように高山らしい商店街が少ない。若者、子どもたちが少ない。老いた自分の足腰が衰えた時、一人暮らしの生活が不安である。
<ul style="list-style-type: none"> ・映画館や大型ショッピングセンター、公園がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化、若者の働く場所が少ない。大学進学後は都会やよそで就職。親は高齢で老老介護。いずれは施設へと思うが施設も少なく有料で入所が不可能。空き家も増えるなど将来がとても不安である。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることはやっているので特に暮らしにくさや不安はない。自分の命は自分で守る、そう思っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に対してはすごく取り組むが、地元民に対しても、もっと楽しめることがあるとうれしい。大きな企画が何もないので、皆が他へ楽しみを探して出てしまうのが残念である。
<ul style="list-style-type: none"> ・物価が上がっているのであまり上がると心配だ。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の金銭的な負担が大きい。物価高騰でより独立できない。車がないと不便なのに田舎だからガソリンが高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設・子ども支援等、ポップ公園のような施設は東西南北に設置が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・大雪になった時の除雪や屋根の雪おろしへの対応
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の積雪が無ければ天国だといえる。交通網に不便さあり。

3 将来に向けたご意見・ご提案

問3 将来に向けた高山市のまちづくりについて、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

労働・産業
・ 外資系ばかり誘致しないでほしい。もっと愛国心や郷土愛を大切にしよう。観光ばかりで観光以外で生活している人もいるため、観光以外のことも考えるべきである。企業誘致をしてほしい。
・ 保育士や教員が余裕を持って仕事できるように、配置を増やしたり仕事量を減らす等して一人ひとりの負担を減らす。
・ 地元で働きたいと思える会社、仕事が増えるといいなと思う。市内での仕事の給料や労働環境を見直して欲しい。高山は特に冬は他県に比べてお金がかかる。そういう面でも補助など検討していただけたらと思う。私は他県から移住してきたが、暮らしてみないとわからないことも多い。飛騨の自然は子育てにはとてもいいと思うが、子どもたちが将来ここに住んで暮らしていくには不便なことも多く、大変だなと感じる。
・ 広大な面積を利用して企業を誘致してほしい。
・ 若者が就職できる企業がほしい。
・ 企業を誘致する人（特に陸上が強いところ）の出入りがないと衰退するだけだ。言いたいことは山ほどある。
・ 若者の市外流出が多い。働く場所がなく、もっと大手企業が誘致できればと思う。
・ 工場などを誘致して若者の働く場を確保してほしい。
・ 観光だけでなく他の産業振興を考えてほしい。観光がダウンしたら市のゴーストタウン化は間違いないと心配している。
・ 観光以外にも力をいれてほしい。
・ 支所地域にある県外から進出した加工会社が頑張っている。
・ ヘルパー講座は10万円出さないと受けられない。逆に補助金を出して、市に就職したら返却不要とするべきと考える。またヘルパーの給料を上げる。

農業
・ 立派な耕地が荒れている。
・ 市が環境に優しい事業所を認定しているように有機農業に力を入れている農家を大々的に取り上げ推奨する方向にすすめてほしい。学校給食も少しずつオーガニック化をすすめてほしい。

商業
・ にぎわい創出といって作られた「大政」が賑わっているところを見たことがない。こういった「場所は作ったからあとは誰かよろしく」と、ハコモノ作って丸投げみたいな事はやめてほしい。そこに新しく作った橋もあまり利用者がいないのではないか。そもそも渡る目的が無ければ誰も使わない。
・ 駅周辺に建つホテルの数は異様だと思う。こんなに狭い敷地にまでホテルが出来たのかと、呆れるばかりだ。観光客の利用が中心となるのだろうが。一方で、市民に向けた老若男女が気軽に楽しめる場所は限られている。ホテルより映画館を作ってほしい。ツキイチシネマやワンコ

インシネマでは市民は自分の観たい映画を観ることが出来ない。ショッピングセンターも市の端にあるので遠くて行けない。私には住みにくいまちだ。10年20年先の市はどうなっているのか。私には想像すら出来ない。私の願いは、市民一人ひとりが「高山市が大好き」と思える市になること。

- ・ 駅周辺にホテルはすごく多いが、カフェがあまりにも少なすぎる。大きなカフェがもっとあると電車やバスの待ち時間をうまくつなげると思う。加えて楽しめるカフェならもっといい。

観光・海外戦略

- ・ オーバーツーリズムについて、TVで報道されている富士山登山、バルセロナのようにならないように、ヴェネチアの入域料5ユーロ徴収や、訪問地域に迷惑をかけないマナーを勉強してもらえる機会が必要なのではと思う。
- ・ インバウンドモデル都市として、外国人観光客も大切だが、日本人観光客の満足度やリピーターを増やすことも重要視してほしい。飛騨の里での企画は、なぜ外国人観光客（富裕層）だけ対象なのか。日本人も対象とすべきだと思う。地元民の私だって、企画に参加したい。
- ・ 観光客の交通マナーが悪くて危ないので、ポスターやビラを配る以外の方法で注意をしたり取り締まって欲しい。多国籍な上、国によって文化も違うので、ビラはその場で捨てられ、ポスターは見てもらえないことがある。
- ・ 神岡のガッタゴーのようなインフラツーリズムや、小坂の滝下り、白川村のサップなど、楽しいアクティビティがいろいろあると嬉しい。外国人も一緒に楽しめたらと思う。
- ・ 地元民が観光地で買い物をした場合、駐車場代金を無料にする特典があれば、観光地を利用する人が増えるのではないと思う。魅力的な飲食店やお店が多いのに、足を運んで貰えないのは勿体無い。駐車場代金を無料にしたら、地域の活性化につながるのではないか。
- ・ 他にはない『高山らしさ』は守られなければならない。それを無視した県外企業の進出は不愉快だ。ホテルばかりが建ち並び、まちなかの飲食店や駐車場、訪問先（観る、遊ぶ）が不足している。古い町並にばかり観光客が集中している。上一之町～下三之町、大新町と広く流れを作るまちづくりを望む。まちの博物館の狭いブースだけでは伝わらない。『金森6代』『高山城、かつての城下町』『高山祭』の資料館建設を希望する。市町村合併により、せっかく広くなった市を活かし、里山の暮らし体験、アクティビティを盛んにする。
- ・ 宮川の朝市に遠方にいる父を案内したが、店に入らないと休む場所がなかった。観光客にとっても気楽に休めるベンチが多くあると良いと思う。本町通りはベンチが多く、ありがたかった。シャッター通りで活気のない所になっているが。城山には木に名前が書いてあるものがあり、ありがたい。北山、松倉山でもあるといいと思う。ウォーキングの楽しみが増す。
- ・ 今、中部縦貫道ができつつある。多くの先輩達が観光というものに力を集中させ、高山の発展を考えてきた。継続してほしい。
- ・ 国内外からの観光客が、市の豊かな自然を楽しむため来られる。特に海外の方は、自然だけでなく高山の何気ない日常の風景に魅力を感じてくださっている。それで、イギリスにある「フットパス」のようなものを整備していただきたい。観光客に高山の色々な良さを知っていただく事もでき、市民の方たちの身体や心の健康にも役に立つのではないと思う。

経済
・物価高への対策をすすめる。

保健・医療
・市民の命を大切に思うなら、赤字でも市立の総合病院を運営すること。それが無理なら、人口生命維持エクモとロボット腹腔鏡手術ダビンチを国の助成をもらって買ってほしい。設備が整えば優秀な医師も来る。
・体外受精ができる施設があれば、少子高齢化対策になるかと思う。
・予防医療を普及している民間企業などと一緒に病気のない市への取組みを希望する。
・小児科や皮膚科の町医者を増やしてほしい。

高齢者福祉
・同じ薬を長期間続けている高齢者の処方内容の見直しを望む。
・最近、若者等への支援はよく目にするが、高齢者でも元気な人はたくさんいる。高齢者が集い楽しめる場所があってこそ、将来若者も高山に住みたいと思うのではないだろうか。
・高齢化率の高い地区に住んでいるが、近くにお年寄りの集まれる場所がないため、整備等について検討してほしい。
・人手不足のため、高齢になるにつれ福祉サービスが十分かどうか不安である。
・高齢者の方が気軽に立ち寄れるカフェ、入浴施設など増えてほしい。
・健康寿命を伸ばし、元気なお年寄りになるために屋内のスポーツ施設をお願いしたい。
・電話詐欺防止のため電話会社は「ナンバーディスプレイ」「ナンバーリクエスト」を無料（70才以上の契約者と70才以上の同居人がいる契約者）にしたが、知らない人もみえるため教えてあげたり、申し込みをサポートしてあげたりすると良いと思う。全員契約できることが理想である。

児童福祉
・とにかく子どもたちを大切にしよう。子どもたちが他の地域と高山とを比べることができる年齢になった時、高山は素晴らしいと思うことができるように環境を整えてあげたい。
・室内で子どもが遊べる施設が少ない。遊具も最新のものがある大きな運動公園がほしい。古川にある杉崎公園のような公園が市にもたくさんほしい。家族で行ける室内型の楽しめる施設がほしい。大型ショッピングモールがきてほしい。男性がもっと育休を取りやすくするために、半分強制的に取るシステムにしてほしい。会社によるが、本当に嫌味を言われたりする会社がある。なんの為の育休なのか。市から様々な企業へ圧力をかけて取得を促してほしいくらいだ。市内の企業は昔の考えの人が多い気がする。そして、母親が仕事復帰しても、子どもの病気で頻繁に休まざるをえない時期がある。そんな時も会社によっては嫌味を言われたりするらしい。もっと子どもや子どもを育てる親に優しい社会にならないと、みんなこんな世の中では、子どもがたくさんほしくて産みたいとは思えない。日本では少子化が問題視されているが、このままでは市からもっと子どもがいなくなるだろう。有名な明石市のようにオムツ代の無料化、給食費無料化など子どもに優しい政策があれば、みんな喜んで子どもを育て、産みたいと思うだろう。明石市の政策を全て市でも実施してほしいくらいだ。未来ある子どもたちの為にお金を使ってほしい。高齢者ばかりにお金を使ってほしくない。未来ある子どもたちがいなければ、

<p>そんな施設を作っても無駄になる。観光にお金かけるなどはいわないが、それと同じくらい子ども達にお金を使うべきである。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯への経済面のサポートを希望する（未満児の保育料減免や給与アップなど）。子どもの遊び場が少ないので、プレイパークや広くて遊具がたくさんあって駐車場の広い公園が欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが当たり前幸せに暮らすまち（社会的に弱者である子どもが幸せに暮らせるまちは、大人も、誰もが幸せに暮らせるまちであると思う）
<ul style="list-style-type: none"> ・発達に問題ありと指摘したあとの対応が親任せである。まずどこに何を相談すれば良いのか混乱する人もいる。市と医療、福祉、保育、療育の関連機関が連携して点と点を結ぶ支援が必要と感じる。連携がどの程度されているのか疑問である。介護サービスのように、定期的にサービス担当者会議のような関連機関が集まる場があると、親の負担が少ない（それぞれに別の日時に同じことを説明することが大変）。サポートブックは素晴らしいと思うが、前述のそれぞれの機関で見せて下さいと言われることがない。活用されていないと感じるので周知して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが市の自然を楽しむ学習（登山、キャンプ、農業体験）をもっと増やして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・療育が必要な子どもを持つ親への対応の見直しを望む。早期発見早期介入は大切なものかもしれないが、保育園、幼稚園、保健師からの言葉で悩んで苦しむ親が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子どもがいても親が希望しなければ保育者側から指摘しないということも聞くが、プロが見て「あれ？」と思った子どもに対しては何か気づいた段階で働きかけていくことが必要なのではないか。何か言われても苦しみ、言われなくても苦しみ、保育者からの言葉かけ、対応で親は随分気持ちが揺らぐ。教科書通りじゃない子どもがいることを知って欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、またここで住みたくなくようなまちづくり、地域づくりをしていかななくてはいけない。他人を批判するばかりではなくて、温かく見守る地域づくりや子どもが外で遊べる環境づくりをすすめてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・一之宮町に「みやっ子ひろば」がオープンしたが、いまだに集いがない。何か皆が集う行事を考えてほしい。無駄だったと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への金銭的および物資の支援を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な子どもがもう少し増えるといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもと遊べる場所（公園や屋内施設など）を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯への手厚い支援（金銭・物資）を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと少子高齢化に取り組み、市民が住みやすいまちづくりを望む。子どもを安心して産み育てられるまち。成功しているまちがあり、若い人口が増えているまちの取組みを参考にしてみたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに協力できるボランティアサポーターの活動の活発化を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、教育にお金をかけてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童教室は、学校とは異った意味で心が開放され楽しい場であるべき。部屋の中だけでなく、外でも体育館でも、図書館にも行けて楽しい時間を過ごせると良い。その為には、指導員の人数を増やし、市とNPO、学校が連携し、過ごし方についても楽しい場を作してほしい。指導員の方の待遇改善も考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から遊べる公園の整備や出産費用・子どもへの支援金増額を検討してほしい。

学校教育
<ul style="list-style-type: none"> ・大学を誘致して、大学を外へ行かなくても進学出来るようにして欲しい。木工が盛んなので美術系の大学の別キャンパスなどがあったらよいと思う。美大生が小中の図工の指導補助などで来て、子ども達にとっても利益があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の負担は少なくてもありがたいが、費用がもう少し高くなって良いので、もっと地産地消の内容にして欲しい。高校に購買部や食堂、お弁当の配達などを取り入れて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校について、夏休みや冬休みを大幅に無くす代わりに、普段の授業を半日もしくは5時間目までにする。部活動は学校から完全に切り離し、教員は一切関与させない。そうでもしないと教材研究する時間が無い。教職員が定時で出勤、退勤することを前提に1人あたりの業務量を考える。昔から続けている取組みを思い切ってやめることも大切である。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校（専門、大学）を作る。

文化芸術・スポーツ
<ul style="list-style-type: none"> ・飛驒の木材などを利用した飛驒らしい文化施設（美術館、ミニシアター）を作って欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・中山競技場に夜でも走れるように照明を設置してほしい。夜も走れず、冬は雪で走る場所もないが、ぎふ清流駅伝で高山の子は頑張って結果を残しているのになぜ走れる場、練習場がないのか残念すぎる。

交流
<ul style="list-style-type: none"> ・英会話のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者、一緒に集まれる場所がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴い、市内での働き手を外国の方にも頼らざるを得なくなってきた。高山を働き口として選んで頂くためにも、市役所に外国人総合相談窓口を設け日本語教室の充実（複数人で担当）を計って欲しい。

歴史文化
<ul style="list-style-type: none"> ・当時5本の指に入る名城と言われたという高山城だが、市民の誇りとしても、観光資源としても、まったく活かされていない。本丸屋形と主だった建物を復元整備し、保管庫に眠るたくさん高山城や金森6代に関する資料を常設公開できる資料館をつくっていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光、文化を本気で誇りに思うのであれば、郊外から市街地に人が住めるように誘導するべきである。祭当日だけ外から参加させるような、イベントなど場当たりのことでは、祭は維持できない。祭屋台だけを保存するのではなく、その地域を守ることを真剣に考える時期にあると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・飛驒高山は観光地として、沢山の観光客が来てくださるが、肝心の市民が自分のまちの魅力を知らない。また、「古い町並」や高山陣屋を残しながら、その歴史を市民、観光客共に知らなさ過ぎると思う。「金森6代」「高山城」「高山祭・まつり会館」などを個別に建設して、もっともっと資料（現物、レプリカ）提供と、高山城、城下町の再現（できれば再建、他CG、VR等）、屋台の構造（実寸大のレプリカ）など見せる、体感させる、といった、歴史に特化した事業をもっともっと取り組んでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・飛驒らしさの具現化策として、倉庫と化している山岳資料館を「飛驒山岳博物館」として発展整備すること。長野県大町市立山岳博物館を見習うべきである。

- ・高山祭と屋台はユネスコ無形遺産に登録された。市も城下町高山の名でユネスコ世界遺産に登録を目指すべきである。

協働

- ・まちづくり協議会は本当に必要なのか疑問である。
- ・自治会（町内会）は本来任意加入であり、加入も退会も自由である。それを知らない高齢者が当たり前のように自治会費を集め、使途が曖昧なお金の使い方をしている。また、行政側も自治会があたかも行政の末端組織であるかのように仕事を丸投げしている。若者はそういう現状が嫌で市外に逃げていく。自治会は即刻解散させるべき。解散が無理でも、任意加入であることはもっと周知すべきだ。
- ・将来性とは関係ないが、市内の町内区分が分かりにくいいため新しい区分にしてもらいたい。
- ・住めば都と言うが、なかなか家を離れられない。助け合いの心が大切だと思う。
- ・独居高齢者への町内での見守りの強化や雪またじの協力をしてほしい。

生涯学習

- ・駅西の複合施設については、2500人・1500人・700人を収容できるホールを整備する。また国際会議に対応できる設備も整える。図書館については蔵書数を12万冊から15万冊に増やす。生涯学習室も10室程度あると良い。

土地利用

- ・駅西ではなく、駅東にしっかり人が住むことができる都市計画を考えていかないと、本当の高山がなくなってしまうと思う。観光宣伝や観光客を増やすことだけではなく、人が住めるまちづくりにしっかり取り組んでいただけるよう期待したい。

住宅公園

- ・私自身に子どもはいないが、子どもがいる方々からは「子どもたちが遊べる場所、公園が無い」という話をよく耳にする。都市部のような綺麗な遊具の揃った広い大きな公園や、各務原の市民広場のように大きな緑地公園があるといいのではないかな。もっと必要とされているものを作って欲しい。
- ・交通公園や交通ルールを学びながら遊べる場所、動物園、アイススケート場など子どもが遊べるよう施設を増やしてほしい。
- ・市には子ども達が遊べる公園や広場が全く無く、遊ばせる場所を求めて他県に行かなくてはならない。他県には芝生の公園や広場があり、沢山の子ども達や親御さんが楽しくしている姿をよく見かける。市にもホテルばかりではなく、市民の憩いの場があればいい。是非子ども達が遊べる公園などを作って欲しい。
- ・空き家を活用して外からの人を受け入れやすくする。
- ・どの市にも無料で充実した遊具のある公園があり、高山も城山を整備してほしい。
- ・観光客を呼び込むお金を使うよりも充実した公園を増やしたり、市民に寄り添ったお金の使い方をしてほしい。
- ・敷金・礼金がないアパートや借家を増やしてほしい。
- ・空き家がたくさん増えていくため、空き家にならない対策をしてほしい。家の跡継ぎが都会に

家を建て、職場がなく、なくなり高山に帰れない親世代が多い。40～50才代のUターンができるような体制づくりはできないか。都会で培ったノウハウを生かせないだろうか。家族が増えれば1人住まいでも助かり、若い人の人口も増え厳しい介護施設の負担が軽くなると思う。

生活環境

- ・ゴミを減らせと言うばかりでなく、地域コンポストの設置など、循環して暮らしが続いていくような方向のまちづくりを目指してほしい。
- ・地域限定の掲示板サービスを活用し地域で物を回し、ゴミを減らす。

公共交通

- ・高山駅に自習ができたりバスや電車の時間まで待つフリースペースを作ってほしい。
- ・支所まで、まちなみバスを通してほしい（生徒、学生、高齢者のため）。
- ・まちなみバスや匠バスの本数を増やし朝夕も運行する。周辺都市への高速バスや鉄道の本数を増やす。
- ・高齢に伴いバス停まで歩けなくて困っている人がいる。今のままで免許証の返納は無理だと思う。市内バスもからっぽで走っている。
- ・のらマイカーについて利便性を向上するための路線に見直してほしい。

道路

- ・道路にスプリンクラーを設置する。
- ・中橋に歩道がほしい。

情報

- ・デジタル化の波は止まらず、今後はどんどん情報化社会が進展する中、この分野の専門性が高い人材の育成が求められる。県外から専門家を連れてきても、地元で高度な知識を持った人材が増えない限り底上げがすすまない。デジタル化がすすめば応用できる人とできない人との格差が広がってゆく。これは全国的な傾向ではあるが、当市も同じ課題を抱えていると考える。DX人材の育成に力を注ぐべきと考える。
- ・アナログの高齢者にも優しく気長にデジタル化を教えてほしい。

景観・地球環境

- ・店舗や住宅等が無造作に建てられている気がするが、残していくべき山、田んぼ等の耕作地や、町並みの将来の姿が見えるとよい。
- ・京都の嵐山は落葉樹にして手入れしていると聞いた。城山、松倉山を落葉樹にして手入れし、紅葉や松倉城の石垣と雲海を見たい。
- ・松本市が岳都と自称していることを最近知った。当市では山都と自称してはいるがどんな施策をしてきたのか。市民が誇れる不変の自然、文化、歴史を大切にしたい。山都と掲げるならまちなかから北アルプスが見える景観づくりを考えてほしい。ホテルの建造物が目障りこの上ない。どこまで無制限に増やすのか。山都のまちらしく、景観、借景を大事にする施策を望む。観光施策ありきではなく、市民生活をまず第一に考えてほしい。まちを歩いていても至る所で北アルプスの山の景観が見えるようなまちは誇れるものとする。そんなまちは歩いていても

楽しいと思う。アーケード街は全天候型で高齢者の散歩コースにありがたいもの。休めるベンチがあるとなおよい。観光地へ行っても一息つけるところがあるとありがたいものだ。

・市民憲章に、わたくしたちは乗鞍のふもと山も川もうつくしい飛騨高山市民です、とあるが、水も美しいというのは宮川を指すものと思われる。中橋から下流を見てほしい。川の中に雑草が茂り、西側の石積みの石が抜けて砂がたまり、10年近くも手入れされず年々広がっている。観光客は三町から中橋を通り陣屋へ、陣屋から中橋を通り三町へ。東側片原町にベンチがあり、休んで宮川を目指す。1丁目商店街の街路樹が大きくなり、外灯より背が高くなり森の中のようだ。外灯より低い木に変えてほしい。

・開発ばかりに目をむけず、森林の手入れ、一次産業（農業、林業等）の支援をしていかななくてはならないと思う。自国での暮らしをもっとしやすくしていくことに注力してほしい。

・まちなかにもっと緑がほしい。

・鳥や昆虫など激減している。「沈黙の春」はもう始まっている。早く、大胆で有効な施策を講じないと手遅れになる。

・みぼろ湖の筏遊覧を春夏秋冬に提供する。

・なるべく自然を壊さないようにしてもらいたい。

・家の回りをコンクリートで埋めてしまい緑地が少ない。木、花など植えてうるおいのあるまちになってほしい。

・北山は植物が豊富である。見晴らし等も魅力的である。

・飛騨山脈の自然を基盤とした山岳文化都市づくり。具体的には倉庫化している山岳資料館を山岳自然博物館とし、野生生物救命センターと併設させ、原山につくる。

・市街地内に緑が少ないのでまちなかの森林化の創成につとめる。緑あるまちづくりをすすめてほしい。

防災

・災害が起きにくいまちづくりをすすめてほしい。また大八賀川にダムを望む。以前作ってあればここ数年の大八賀川の氾濫はもう少し小さかったのではないかと思う。工事も少なかったと思うし、使用するお金も少なかったのではないかと思う。

・防災無線の音声が割れるなど大変聞き取りにくい。殆んど分からない様なものである。外に居ても、家の窓を開けても聞きづらい。

・災害に強いまちづくりをすすめてほしい。

安全

・住宅街での交通の取り締まりも行なって欲しい。

行財政運営

・市民と市政が近づくこと（お互いの歩み寄り、小さなことでも市民の声が届いて自分たちの暮らしが変わる実感や希望が欲しい。市役所の仕事も大変過ぎるところは分け合って、行政民間の垣根を越えて協働することはできないのだろうか）

・DX及びキャッシュレス化の推進を図る。市税、国保料、水道料金等の納付書ごとの都度払いはスマートフォン決済、クレジットカード・ネットバンキング決済、コンビニエンスストア納付等充実してきているが、継続払いは地元の金融機関の口座振替のみで不便な状況が続いている。

<p>以下の施策を提案したい。</p> <p>(1)市税、国保料、水道料金等の口座振替の拡充（ネット銀行を利用可能にする）</p> <p>(2)Web 口座振替受付サービスの開始</p> <p>(3)市税、国保料、水道料金等のクレジットカード継続払いの開始（決済手数料を住民負担でも可）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公務員だって 1 人の人間。市役所職員だって 1 人の人間。定時で出退勤できるように、市長、管理職主導で優先度の低い仕事を無くす。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飛騨総合庁舎との連絡（コラボ）を広報たかやまに掲載してほしい。県と市がもっと仲良く協力して事を成してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱もの（建造物）はもういらぬ。経費の無駄使い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員のパソコンマンはいっぱいいるが、ワークマン（すぐにやる、機転が早い行動が取れる人間）がいない。フットワークの良さを願う。火葬場の選定に何年かかっているのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所の職員の対応が良くなって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所をお願い事をしてもなかなか動いてもらえないという話をよく聞く。千葉県には「すぐやる課」のある市がある。「市民の声にすばやく対応し同時に行政を市民に身近で分かりやすいものに」のコンセプトで作られた課だそう。地域政策課もそんな風であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 無駄な公用車、施設（スキー場）の使い方の見直してほしい。もっとイベントをやってほしい。

<p>若者</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公務員の給料を上げる等、若い人が市内で就職することにもっと魅力を感じられるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型のショッピングモールが欲しい。若者やファミリー向けの娯楽スポットがない。若者が住んで人口を増やしていくようにするには、映画館付きの大型商業施設が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高級リゾートホテル建設で、優秀な人材が市にくるので、関東の人口の増えている市を参考にして、若者に魅力ある子育てしやすいまちにしたい。市の人口の欠落した 20～30 歳代を引き留めたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少、少子化等、どの市町村にも課題はあるが、高校を卒業後、大学や就職したあと、故郷高山に帰る選択肢があるといい。経験値をいかせる仕事、両親の介護等、都会とは違う施策が明確にわかれば、人生の最後の岐路の年代である 30 代前半で、U ターンを選択肢にいれると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市には若い年齢層が少ないが、貴重な子育て中の若い世代が経済にゆとりがなく可哀そうに思う。もう少しお金のかからない教育システムにしてあげてほしい。豊かな暮らし＝経済だと思う。所得の水準が低いのに市民税が高すぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが高校卒業後に市内に定住し続けられる環境を整えることを提案したい。教育学部系や医学部系の授業をオンラインで学べる環境があれば、まち全体としての質が向上すると思う。駅西の再開発や総合病院の建て替えにともない、施設の一部を大学とタイアップしてオンライン授業と単位が取得できるような柔軟な対応を取り入れ、さらに、市内の学生や将来有望な人材確保のために大学授業料を市が一部援助することと引き換えに一定期間高山、飛騨地域で就職（学校教諭や医師など）してもらおうなど、防衛医科大学のような奨学制度の仕組みを活用して、若い世代が学び、活躍できる地方再生の起爆剤として長期的な仕組みを構築していただきたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・今の観光主体の市だと、若い世代の方々が市に安心して定着できるとは思えない、高校を卒業して大学を卒業し、市内で仕事をとっても、今のままでは若い方々は高山を離れるだろう。市には高山祭にも負けない知名度が高い「野菜」がある。既存の農業では重労働なので就労は望めないだろうが、通年稼働可能でハイテクな「野菜工場」があれば、多様な方々も就労を考えるかもしれない。観光のメインである古い町並について、コロナの制限が緩和され、平日でも沢山の観光客が来てくださる。それに伴い、観光客目当ての飲食店も増えている。古い町並ではなく飲食店街のように感じる。また食べ歩きが目立つ。規制が必要である。産業があるだけでは若い世代の方々の定着は望めないだろう。特に子育て世代の方々に手厚い支援が必要だ。子育て世代は共働き世帯であり、子育てに関する全ての施設サービスについて多様な子育て家庭への負担軽減をきめ細かく行うことで、安心して暮らせる市、また移住ではなく安心して定住できる市になるのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策を早急にすすめていただきたい。多様な生き方が認められる時代になってきたが、まずは結婚や子どもを望む人が躊躇なく叶えられる環境作りが大切ではないかと思う。経済面をはじめ、さまざまな理由で「あきらめる」「踏ん切りがつかない」という話もよく聞くが、そのうちに出産適齢期を過ぎてしまう例も多い。産み育てる希望も能力も環境もある人が、あきらめているのはもったいないことこの上ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・賃金アップや若者が暮らしやすいまち
<ul style="list-style-type: none"> ・観光も大事だが、若者が高山に住みたいと思えるまちづくり。小さい子どもが安心して雨の日も遊べる場所作りを望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが東京の大学を卒業しそのまま向こうに就職した。若い方が地元就職できるようにしてほしい。映画館があるといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化について、子育て支援で金銭的な援助も必要だとは思いますが、もっと市から直に若者に向けてメッセージを語り掛けてほしい。子どもを持つ意義、喜び、子育ての素晴らしさ、幸福等。また子孫の繁栄によって生まれる市の繁栄、そのためには若者の助けが必要だということ。何とか市民一人一人、皆に届くようお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政だけに任せるのではなくこれからの若い人に問題をどうしたらよいか、地域で取り組むことに市がお金を出してくれたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が活躍できる場作り。気軽に体育館などが貸し出しできて利用できること。使うまでの手続きが煩雑で使いにくい。

<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・やはり一にも二にも人口の流出が問題だと思う。出生率が全国的に見ても高いのは利点だと思うので、例えば人口が県外に転出する場合は、転入先の自治体が転出元からの転入数に応じて地方債（例えば出生率に応じた利率）を購入しなければならない等の仕組みが出来れば面白いかもしれない。もちろんこれは市だけで出来ることでもないし、全国で一斉にやらなければ意味はない。
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育、学校教育及び家庭教育を包括した生涯教育と福祉事業に大幅な予算を付け、市民たちが納得し幸福度を上げることができる、人生 100 年時代にあった全人的な施策を展開してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校で実施するなど、もっとこのようなアンケートを多くの人に求めた方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・レジャースポットを作してほしい（映画館、大型公園など）。

・市が将来生きていくには、①観光、②木工産業と大工・左官、③人にやさしいまちづくり、が必要だと考える。

①観光

まず、年間 60 万人以上の外国人が市を訪れるようになったこれまでの取り組み・努力に敬意を表し、そのうえで以下を提案したい。

(1) 自転車の聖地化

乗鞍スカイラインサイクルヒルクライムは殿下平からスカイライン山頂までのハードなコースで知名度もある。その大会をより認知度を上げるためにも、有名な四国・中国のしまなみ海道のように自転車道を整えて高山を自転車の聖地にすれば、外国人観光客をはじめとしたサイクリストが増えていくと思われることから、市内中心部や白川郷・新穂高などのような点の観光地から面（線）に広がり、郊外の田舎でも恩恵を受けられるようになる可能性がある。海拔 430m の市中心部から 1684m の平湯峠（乗鞍畳平であればベスト）までの全長 3km のかなりハイレベルなコース（41 号→下切→町方→158 号を東進→朴ノ木平→平湯峠。朴ノ木平以降は相当ハイレベル）。初心者用には、駅から千光寺までの 10km、駅から宇津江四十八滝までの 17km のコースも用意する。e バイクの用意も時宜に適っていると思う。商店などの協力を得てエイドコーナーを常設し、飛騨牛、宿讎カボチャスープ、トマトジュース、みたらし団子、五平餅、果物などの提供、地元民による沿線での手振り・横断幕による応援を実施する。すると、これまで自分たちでは気づけなかったような観光スポットもでてくる可能性もある。

(2) ヤカーリング

丹生川発祥のこのスポーツは素晴らしい。老若男女を問わず、費用もわずかでいいし、何よりも誰もがニコッとできてそんなに難しくないのがいい。ここにしかないのであるから有効に活用し、市内に宿泊のお客様に声をかけ、飛び入りで参加してもらうことで勝手に全国大会、世界大会をやればよい。奥飛騨温泉郷の雪合戦の世界大会は季節に限られるが、こちらは通年でできる点もいい。

(3) 動く文化の常設展示

（既にあるのかもしれないが）高山を中心とする飛騨の祭りの鶏鬮楽、獅子舞や謡い（めでた）を常設する施設を市内中心部に用意したい。ある時外国人から「謡いは素晴らしい」と聞いたことがある。

(4) 蚤の市

我楽多市は、骨董品や古美術品、飛騨の木工品を販売しているようだが、これとは別に、高山のものにこだわらず全国に出店者を募る蚤の市を広い会場で実施してはどうか。もちろんその一角には飛騨のコーナーを設ける。これにより、少なくとも出店者の宿泊は増えるし、定着すれば多くの来場者が見込めるはずである。

(5) 環境にやさしい市

移動を車に頼る市民にとってはたぶん現実的ではなく、物凄く高い壁だと思うが、市が観光中心で外貨を稼ぎ生きていくというなら、スイスのツェルマツトのように「市内は排気ガスを出さない電気自動車等しか利用できない」とできれば、時流にも乗り、かなりインパクトがあると思う。市民も観光客も市内の移動は電気バスか電気タクシーおよび人力車に限定し、郊外では内燃機関を利用可とするもので、市中心部の市民は車を持たないか郊外のモータープールに保有し郊外でだけ利用する。郊外の人には市内隣接の駐車場まで車で行き、市中心部では電気バスか電気タクシーを利用する。なお、イタリアのヴェネチアを意識するなら、人力車限定となるかも。環境保護のため乗鞍スカイラインにマイカー乗り入れ禁止とした実績があるのだから、

これらの提案も検討の余地はあるのではないか。

②飛騨の匠と左官業、木工産業

飛騨の匠の技術は秀でていて有名であり、左官業も全国一の左官職人がいること、さらに有数の家具メーカーがいくつもある。これらを展示も含めてセットで売り出してはどうか（既の実施されているのかもしれないが）。統一感のある邸宅となり、全国の特に富裕層に受け入れられるのではないか。セットであれば輸送も効率化できると思われる。

③人にやさしいまちづくり

(1)交通弱者の移動支援

SDGs への取り組みが必要な今日、観光客への配慮はもちろんだが、地元住民への配慮もそれ以上に必要で、SDGs の理念である「誰一人取り残さない」ことが重要である。市当局がタクシーを含めた公共交通の在り方、いかに住民の利便性を上げるかに従来から腐心しておられることは承知の上で、以下を提案したい。

特に郊外の支所地域においては、路線バスが定期的に幹線を走っていても、コミュニティバスが1日に2～3本走っていても、高齢者にとっては出発バス停までの移動や下車後の移動が不便で、特に買物後の荷物を持つての移動は相当堪えることから、実態として免許証を返納すべき人を含めほとんどの人が自家用車で移動している。こと買物に関しては移動スーパーや生協の移動販売もあるものの、高齢者のQOL（生活の質）を高めるためには、家に籠らず積極的に外に出て行くことも必要と思われる。これを解消するには、コミュニティバスを利便性が高いと言われるまで増やしたり、幹線を走る路線バスとの連携を今以上にすることや、デマンドタクシーの活用などが考えられるが、そうしても（デマンドタクシー以外は）買物の荷物を持つてのバス停から自宅までの移動の大変さは解消しないし、デマンドタクシーを含めて行政の費用負担も大きくなる。そこで、それらの隙間を埋めるのに民間の力を活用してはどうか。この問題は市に限らず全国の問題でもあり、国交省の自家用有償旅客運送のルールを運用を緩めることで解消できると思う。確かに自家用有償旅客運送のルールを運用を緩めることはタクシー会社やバス会社の利益を損ねる可能性はないとは言えないかもしれない。しかし現実問題として、高山地域から支所地域へ向かうのにはタクシー代が片道5000円以上かかることから、それだけの費用を払ってまで買い物に行くのは現実的とは思えず、実際、利用者はほとんどいない。結果として、タクシー会社の利益を損ねることはないと思う。

(2)移住者の支援

現在、商工会議所の起業家セミナーの受講者には、自分の予想以上に移住者がいる。市が誘致や支援の施策を実施しておられることからその効果が現れているのだろうが、これらの人に、「なぜよかったか」「どうしてほしいか」などを寄り添って聞くことが大切だと思う。

(3)健康づくり策

会社員時代には駅まで歩き電車で通勤していたが、(退職後)地元へ帰ってきてからは目的地まで車で行ってしまふので、意外なことに歩く機会が減り、運動不足になってしまった。市民は皆さん同様に、目的地まで車で出かけることが多いと思う。余程気を付け努力をしている人以外、皆さん運動不足なのではないか。もしそうであるなら、高山市健康ポイント事業で既に取り組みもされていると思うが、本人の健康のためは勿論のこと、医療費を減らすためにも運動に特化した何かのきっかけづくりが必要だと思う。

- ・女性が活躍できる自治体にしてほしい。高山は家父長制の考え方が都会より強いと感じる。私の娘はそれを嫌って、市から出て都心に住んでいる。政治家や自治会のリーダーを女性にして、

女性の声を政策に反映してほしい。他の自治体よりも率先して行ってほしい。市の少子化、人手不足の解消につながると思う。

- ・ 10年後の人口動態を極力正確に予測し、希望的観測を排除して、ありのままを受け入れた将来像を提示することが肝要である。結果、消滅する集落がいくつも発生する事態が予想されるが、一方、限られたマンパワーの中でいかに「他地域からの人口流入が多くなるような魅力的な市」となるための取組みが示されると期待している。市長公約には「あえてコンパクトシティー（生活圏を中心地に集約するまちづくり）を目指さないことに挑戦」とあるが、日本一広い市では難しいと思う。生活するところ、働くところ、守る農地、保全する森林など、ある程度「線引き」していく必要があると思う。また、「魅力的な高山市」とは、「こんな魅力的な人がいます」と発信できてこそだと思う。そのためには、長期的な視点に立って「世界的に活躍できるような人材の育成」に注力することが大切だ。

目指すまちの姿：「シン国際観光都市 飛騨高山」（人材の多様性を認め、受け入れて活かすまち）

- ①人口動態に基づき土地利用計画（都市計画法、農振法、森林法など）を柔軟かつ即時的に見直す。

都市計画区域（拠点）：生活環境の整備をすすめる周辺からの移住を促進（工業、商業地域への企業の集積を促進する）

農振地域：将来的に継続して利用する農地を選択し公共事業を集中実施

個人経営から法人経営へのシフトを加速

グリーンツーリズムへの対応

森林地域：人工林の計画的に伐採し、奥山の自然林並びに里山の自然林を拡大

- ②世界に羽ばたく人材の育成を掲げて若年層の教育を充実

友好都市との長期的な視点にたった人的交流の実施（人材の多様性を自然に受け入れ個性として認めることができる子ども）

外国人ホームステイ家庭の拡大（語学やITに関する生涯学習の場の充実）

子どもが興味あることをとことん追求できる大人のサポート体制（ネットワーク）の整備

- ・ 市のブランド力を更に上げて、暮らしている人達のプライド力を上げる。そのための市民活動として、長崎市の取組みのような市民による観光客への声かけ運動「あいさつや道案内」の市民参加型の展開を図る。市政は、高齢化社会の諸問題は当然あるものの、主眼を置くべきは未来担う子ども達のために今何が必要かを考えていただきたい。私達にできることは、ここで暮らして幸せだという姿、笑顔子どもたちに見せること。地域、コミュニティを大切にすること。

- ・ 今後、今回の意見や提案をまとめることや、具体的にどうすればよいか話し合う機会があれば参加したい。

- ・ 計画については、ある程度堅苦しくないものだと、市民も事業者も行政も認識を共にしやすく、物事に取り組みやすくなると思う。また、計画にはいろんな指標があるが、お飾りになっている気がする。あまり効果的でない。

- ・ 既得権益ではなく、一般常識的な企画運営を望む。

- ・ 少し昔に戻る事も大切かな、と感じる。

- ・ 総合計画のあり方について。入口としては、全分野網羅型計画と戦略型計画に分かれるが、前者を踏襲されることを前提にして一言。（ほとんど全ての計画に共通する課題だが）計画の進

捗・成果管理として月並みに目標指標が設定されている。しかし、設定された指標を見る限り、活動指標（アウトプット）のレベルになっていて、後は市民アンケート等による市民の受け止め方が定性指標の一つとしてある程度だ。計画作成自体にエネルギーを費やす時代ではなくなっている。計画の評価をしっかりとできるよう、成果評価の目安となる指標設定にエネルギーを費やしてもらいたいと思う。総合計画のまちづくり指標も国の各種計画にある KPI も、すべて活動指標レベルである。作業としては、いきなり成果指標の設定になるのではなく、ロジックモデルを設定して、アウトプット～中間アウトカム～最終アウトカムの流れを各分野で設定することが求められる。あと一点、政策・施策・事業評価と行政評価はしっかり区分して、前者は総合政策部、後者は総務部の所轄としてもらいたい。

・若者・子育て世代と高齢者世代を票田の物差しではなく公平に見て、政策を練って欲しい。次に、世代間の不公平感を解消する為に、世代間の相互理解、相互扶助の考えを広め、交流する機会を作って欲しい。そうすることで、市政に対するクレームが減少するのでは、と考える。また、市政運営しやすくなり、市職員が生き生きと働けるようになり、市がもっと良くなることで、近い将来、高山が住みたい市ランキングに入るような素敵なまちになると思う。最後に、この意見募集の回答方法について。①郵送、②QR コードとなっているが「オンラインでの回答協力を」と載せるなら、まず①QR、②郵送、とした方がオンライン回答が増えやすく担当課の集計負担がかなり減ると思う。まず最初に「郵送」という言葉が出ると、回答する気が削がれたりして、結果的に若い世代の回答より、高齢者世代の回答の比率が増える可能性が考えられる（現代はネット社会なので、若い世代はそもそも切手持ってない世帯もいる）。偏り無く各世代の声を聞くには SNS の活用が不可欠である。早急に SNS を活用したアンケートを採用して欲しい。アンケートで高齢者の回答が多かったから、高齢者世代のための政策をする、ということがないように心から願う。

・市が裕福になるような取組みをして欲しい。市がお金を稼げる（公共的にお金が入ってくることも含む）仕組みや、何か（子育て世帯が住みやすい市にするとか）に特化し、移住者を増やせる仕組みなどを検討してほしい。あと、市外の事業者に頼り切りの受発注はやめて欲しい。

・減税を望む。

・公共施設に隣接する駐車場を、市民は無料で使えるようにする。

・村半のような活動できる場所や市民が気軽に使えるコワーキングスペースがあると良い。

・市民が市街地の駐車場を利用しやすくなるような仕組みがあると良い（市民は無料で使える、駐車場チケットなどの配布）。

・高山はお金がある市なのに市民税が高い。

・支所地域の活性化を望む。

・いわゆる氷河期世代やロスジェネ世代、障がい者にも機会やチャンスが欲しい。

・地域が元気になれる企画をすすめてほしい。

・子育て世代だけでなく誰もが受けられる助成を望む。

・人口減少、少子高齢化は今後もすすんでいく状況である。特に市中心部から遠い支所地域は深刻である。行政、民間問わずサービスが低下している。近隣自治体との連携も含め、計画を検討してほしい。

・結婚問題についてシングルマザー等の結婚を推しすすめる。大体的な助成金も必要である。

・これ以上の観光は必要なのか。若い力、新しい発想を大切に、空き家をもっと活用できるようにする。医療と子育て支援、教育の充実を願う。

<ul style="list-style-type: none"> ・高山地域には街路樹が少なすぎる。桜並木などがほしい。特に駅前が殺風景で緑が少ない。金沢市を見習ってほしい。小さい子どもがゆったり遊べる公園がなさすぎる。映画館がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市政以外の国や県の各10ヶ年、5ヶ年計画との連携を結びつける各担当者の努力が必要である。意見を何らかで市民に公表してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に向けて増加させることばかり考えるより、小さくこじんまりとしていて、それでいて過ごしやすいまちにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・税金を徴収することばかりはやめてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えること。
<ul style="list-style-type: none"> ・広報たかやまで色々なマナーについて常に発信し続けて、市民全員が共有し、マナー意識の高い思いやりのあるまちになっていくと良い。別でまちづくりの意見募集をしているハガキ形式のような気楽に改善提案できる機会が常にあるとうれしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少、若者の働ける環境作り、企業などの誘致、農林業に従事できる人作り、移住者、Uターン、Iターンの人たちを迎えられるまちづくりができればいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心地以外の医療の充実と食料品店（生活用品）、交通機関の利便性と充実を願う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市長や支所長になられた方は歩いて通勤してみしてほしい。何が必要かわかる。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光高山も先祖が残してくれたものである。町並み、建物、絢爛豪華な屋台の維持管理、屋台を持つ町内の使役の苦勞を聞くため、持続を目指すなら市全体でそれを担ったらどうか。ホテルの乱立が不安で労働者不足を危惧する。規制か条件を厳しく考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨アピールの為にも「ご当地ナンバー」を作してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・容姿に対する偏見がない地域を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・風呂券を使用しない人に対して特典を考えてはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の地域では2校が廃校となっている。市では全く手を入れないため、草が生い茂っており、すさんでいくばかりである。廃校となっている別の小学校では、地域住民がグラウンドの環境整備をし、住民の運動の場、大学生の合宿の場となっている。もっと市が積極的に利用者を探したり、シルバー人材センターを使ったりして手入れに力を入れて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光や子育て、高齢化や空き家問題など地方固有の共通課題から話し合っていく事も大切だが、見えてない、または見ないようにしている問題がたくさんある。さまざまな世代の意見を本気で必死に聞いて行くかが、市の未来を変えらると思う。市職員の方も多忙であることは承知している。市民からの声を聴き、色々やっているが、限られた時間でやれること、手が届く範囲はいつもたいして変わらない事にもどかしさを感じているだろうと察する。しかし、ストレッチしないと問題は解決できない。3割本気の人がいれば状況は変わるといわれている。まずは人口の3割の本気の人を募って活動してはどうか。コロナや社会不安、VUCA（将来の予測が困難）の時代に、みんな元気がなくなり、今だけ、自分だけの人が増えているが、高山はそうじゃない方がまだたくさんいる。私は高山が日本を取り戻すモデル地区になると信じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・土地を売りたい人が多いため、都会から移住者や企業を呼び込めたらと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが平等にサービスを受けられるよう、交通の便等配慮してほしい。



高 山 市

まちづくりに関する意見募集